

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和5年9月29日)

事業コード	R5-建-継-13	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業	部局課室名	建設部河川砂防課
事業種別	河川改修	班 名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2514
路線名等	一級河川 横手川	担当課長名	河川砂防課長 木次谷 英成
箇所名	横手市本郷	担当者名	チームリーダー 玉尾 毅
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	S44~R15(65年)	総事業費	245.0億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長L=6, 120m, 計画高水流量Q=1, 100m <sup>3</sup> /s(1/50)					
事業の立案 に至る背景	横手川は、奥羽山地から横手盆地に出た扇状部に位置し、S字状に屈曲しながら流下しているため、度重なる洪水被害が発生している。 特に、市街地の3分の1が浸水した昭和40年水害は、床上浸水1, 149戸、床下浸水2, 955戸の被害に見舞われている。					
事業目的	横手川の氾濫による災害を未然に防止し、民生の安定を図るために河川改修事業を行うものである。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		前回評価	今回評価	増減	理由等	
	事業費	21,700,000	24,500,000	2,800,000		
	経費内訳	工事費	7,835,000	10,589,000	2,754,000	残土運搬等による増
		用補費	11,301,000	11,187,000	△114,000	地価の変動等による減
		その他	2,564,000	2,724,000	160,000	仮設計画検討の増
	財源内訳	国庫補助	10,850,000	12,250,000	1,400,000	
		県債	9,765,000	11,025,000	1,260,000	
その他		0	0	0		
一般財源	1,085,000	1,225,000	140,000			
事業内容	築堤、護岸、排水樋管等	築堤、護岸、排水樋管等				
事業の進捗 状況	全体計画 245.0億円 令和4年度末投資額 188.8億円 進捗率 77.1%					
事業推進上の 課題	残区間の整備にあたっては、新技術の積極的採用を進め、環境保全対策と調整を図りながら、コスト削減を推進し、事業の進捗を図っていく必要がある。					
関連する計 画等	新秋田元気創造プランにおいて、県が継続的に取り組むべき基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③の「頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている。					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	横手市街地中心部の河川改修であるため、用地取得、補償と移転先確保に多大な時間を費やすこととなったほか、県全体での予算制約と全域での浸水被害発生による情勢の変化により、事業期間を延長する必要がある。					
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名	河川整備率				
	指 標 式	河川改修済み延長 / 要改修延長				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目 標 値 a	46.6%(R4末目標)		データ等の出典	河川砂防課調べ	
	実 績 値 b	46.7%(R4末実績)		把握の時期	令和5年3月	
達成率 b/a	100.2%					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	平成17年度までに、近年災害のあった区間について緊急特別対策事業が完成しているが、下流区間の治水安全度が低いため、河川改修を推進し、横手川が一連として目標とする治水安全度を達成できるよう、地域住民より早期の完成が強く望まれている。	30点
緊 急 性	現況河川の流下能力が低く、河道が激しく蛇行を繰り返しており、川幅も狭小であるため、大規模な洪水が発生した場合には、甚大な被害が想定されるため緊急性は高い。	8点
有 効 性	過去に河川改修を実施した区間については、浸水被害の発生が無いなど、災害防止等効果が発現されていることから、有効性は高い。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は18.02であり、効率性は高い。また、家屋移転を最小限とした河道計画によりコスト縮減を図り、河川改修事業を促進している。	13点
熟 度	昭和40年7月の横手川氾濫により甚大な被害を経験している市民から、事業の早期完成を要望されている。また、工事に際し、生態系に配慮して早期の復元が可能なブロックの使用や、城下町の景観に配慮した石積み護岸を実施している。	17点
判 定	ランク ( ●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ )	83点
	地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。
----------------------

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 河川改修事業

事業コード (R5-建-継-13)  
箇所名 (一級河川 横手川 横手市本郷)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10	4,104戸	
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	1,913ha	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	避難場所(防災)、保健所、診療所	
		1施設以上	3			
		なし	0			
整備計画の策定						
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	R2.3.16		
	協議中であるが特段問題ない	3				
	策定に着手していないが予定がある	1				
	予定なし	0				
計			30	30		
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	5	70%以上	
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画					
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	R5水防計画書より区分B		
	評定基準区分B	3				
計			15	8		
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7		
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	親水空間整備あり(H8~9水辺の楽校プロジェクトほか)	
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	都市計画区域あり	
地域開発の計画がある		1				
予定なし		0				
計			15	15		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	18.02	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	5	1.再生資材(砕石)使用。2.河道計画見直しによる家屋補償の最小限化。3.仮設資材の再利用。	
		2項目	3			
		1項目	1			
		なし	0			
前回計画との比較						
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	3	113% 217.0億円→245.0億円 (28.0億円増額)		
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計			15	13		
熟度	地元の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	3		
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	3	横手市都市計画マスタープランに事業の記載あり	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率(事業費)	8割以上完了	10	8	(R4)188.8/(計画)245.0 =77.1%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環境配慮事項)	3事項以上	5	3	1.自然環境の改変の少ない護岸構造とした。2.周辺環境(城下町の景観)と調和した河道とした。		
	1事項以上	3				
	環境配慮事項がない	0				
計			25	17		
合計			100	83		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		